

五月鹿ノ台教室誌上句会 優秀句

お題「子供」(連記) 五十嵐千楽選

楽しそう目が決め手です鯉のぼり
子供にも言い分はあるふくれ面
あどけない子供遊びをゲームする
みどり児に矢車騒ぐ昼寝時
ひざまくら子の耳かきも遠い日に
育ち盛りあきれほに食べ尽くす
さらばえて子に叱られるご浄福
自己失い子供がえりの父が居た
子沢山長子やむなく親がわり
いる居ないどちらが良いか子に尋ね
父につくか母につくかと子の苦悩
子供部屋二段ベッドの跡残る
手作りを着せたい親の気も知らず
母さんを支えてくれた子の笑顔
子が親にならぬひずみが増えてゆく
秀 昭和の子はガキ大将に育てられ
軸 よく見てね本人よりも親ですよ

お題「せっかく」森里えいじ選

念のためメモしたメモが見つからぬ
金と暇あるのに邪魔をするコロナ
三時間かけた手料理チンをして
自肅令に二十歳の晴れ着日の目みず
高い口紅安いマスクが無駄にする
コロナ入社歓迎会がアダとなり
踏み台をいくつもこわし得た野心
自肅する心惑わす五月晴れ
コロナ後もマスク美人を続けたい
せっかくのご縁大事にいたしましょ
席譲る立つのが楽と返される
秀 夢かなえ建てたホームに居場所ない
軸 接種券しっかり保管座して待つ

お題「うらやむ」川崎ちさと選

うらやましがつて覗いた火の車
うらやまし言いたいことが言える人
きんというゴルド免許たなの奥
目いっぱい食べても肥えぬ人がいる
堀ごしに響く笑いが胸にくる
血糖も気にせず食事出来る人
個展行き賛辞に覗く嫉妬心

充

よう子

宏 樹

ちさと

登 美

えいじ

正 清

哲 子

ミノル

幸 男

乃り子

英 二

春 代

広 子

義 雄

アキラ

千 楽

よう子

アキラ

英 二

乃り子

英 二

充

よう子

アキラ

義 雄

広 子

千 楽

哲 子

えいじ

アキラ

えいじ

正 清

登 美

哲 子

登 美

充

人の世のバラはスミレに嫉妬する
嫉妬心鈍感力がカバーする

広 子
よう子

充

皇子眠る西方仰ぐ二上山

やどかりをじつと見つめるホームレス

秀 お昼寝と夜も十時に寝れる人

軸 マネキンがとてもうらやむスレンダー

自由吟(共選) 水間充選

治るのも患者次第と言う名医

私を騙している鏡の笑顔

逝った友若き姿のままでいる

書店では買わずに売ってばかりいる

全勝の力士を誰も期待せず

ぼつねんとしてすさまじい墓じるし

断りにとても便利なコロナです

悪いとこ無いはずないと医者変える

母の日のニュースチャンネルそつと変え

荒れた手に家族支える自負がある

三密をかまっておれぬ特売日

秀 喜びと悲しみ隠すマスク下

軸 雪解けを青く届ける梓川

自由吟(共選) 原広子選

コロナ戦負けず嫌いの私でも

電話口ご無事でしたかコロナの世

耳にたこコロナワクチン妻の愚痴

喜びと悲しみ隠すマスク下

雪解けを青く届ける梓川

変異株みるまに日本染めていく

母の日のニュースチャンネルそつと変え

三つの世を苦とも思わず乗りきった

悪いとこ無いはずないと医者変える

逝った友若き姿のままでいる

三密をかまっておれぬ特売日

秀 荒れた手に家族支える自負がある

軸 心にもワクチン欲しい長い鬱

義 雄

正 清

ちさと

宏 樹

広 子

えいじ

ちさと

乃り子

正 清

義 雄

宏 樹

英 二

よう子

アキラ

幸 男

充

乃り子

千 楽

義 雄

幸 男

充

哲 子

英 二

春 代

宏 樹

えいじ

アキラ

よう子

広 子

六月誌上句会 投句メ六月十日 各二句

「我慢」(連記) 坪田登美選

「だから」 橘 正清選

「盗む」 播本英二選

自由吟(共選) 勝部乃り子選 奥村義雄選

*メール又は封書 アキラ迄